


# 幻の「時の記念日の歌」 再現イベント

2016年 **6月12日** (日)  
12時30分～

とうと 尊い 宝

作歌 田淵 巖 ・ 作曲 永井幸次

- 
- 一、金より尊い 宝は時間  
再びかへらぬ だいじな時間  
生活改造の いの一番に  
時間を尊重 いたませう
  - 二、金より尊い 宝は時間  
二度とは得られぬ 切ない時間  
社会(しゃかい)改善の いの一番に  
時間を正しく いたませう
  - 三、金より尊い 宝は時間  
一度すぎたら かへらぬ時間  
能率増進の その手はじめに  
時間をうまく 使ひませう
  - 四、金より尊い 宝は時間  
再び帰らぬ 大事な時間  
文化増殖の その手はじめに  
時間を正しく 守りませう

定員：先着 250 名  
(整理券制)

場所：天文科学館・2階  
プラネタリウムドーム

1920年(大正9年)に製作された「時の記念日の歌」を大阪音楽大学出身の音楽家が再現します。

6月10日は時の記念日です。時の記念日は、671年に天智天皇が漏刻(水時計)を設置し時を知らせたことに由来し、1920年(大正9年)に東京教育博物館(現国立科学博物館)で開催された「時展覧会」が契機となり誕生しました。

時展覧会や時の記念日は全国的な広がりをもちました。1920年に大阪で開催された「時展覧会」で時に関する歌詞の募集がおこなわれ、入選作のひとつ兵庫県佐用郡の田淵巖氏の作品「金より尊い」は、大阪音楽大学の前身「大阪音楽学校」設立者の永井幸次(こうじ)氏(1874～1965年)が作曲を行い、後に「尊い宝」という名前で時の記念日の唱歌として全国の学校で歌われるようになりました。同歌は現在では知る人も少なくなりましたが、昨年、大阪音楽大学音楽博物館に楽譜が残っていることが判明し、この度再現する運びとなりました。

【繁田 千都子(しげた ちずこ)：ソプラノ】

明石市出身。兵庫県立西宮高等学校音楽科、大阪音楽大学声楽科卒業。イタリア国立キジアーナ夏季音楽院でC.ベルゴンツィ氏のクラスに学び、1999年よりミラノにてスカラ座副指揮者D.マツォーラ氏のもとで研鑽を積む。西宮市宮水学園講師、大阪音楽大学演奏員、日本演奏連盟会員、西宮音楽協会会員、上方オペラ工房メンバー、ヴォーカルユニット桜主宰。

【北山 幹子(きたやま みきこ)：ピアノ】

兵庫県立西宮高等学校音楽科、大阪音楽大学音楽学部器楽学科ピアノ専攻卒業。『尊い宝』作曲者の孫である永井敦子氏・永井正高氏に師事する。ソロ・アンサンブル・声楽、器楽、合唱等の伴奏活動中。大阪音楽大学短期大学部非常勤教育助手を経て、現在、大阪音楽大学短期大学部ポピュラー専攻、夙川学院短期大学、各非常勤講師。

